

① 事例名	
勤務時間の意識付け	
② 学校名	
大津市立小野小学校	連絡先 077-594-2300
③ 取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務時間の意識づけに関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 校務分掌(業務の平準化、業務削減等)に関する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 外部人材の活用(スクールロイヤー・民間人材の活用等、コミュニティ・スクール、地域学校協働本部、地域ボランティア等含む)に関する取組	
④ 直面していた課題(取組前の様子)	
・4月は、時間外勤務が80時間を超える教員が35%、そのうち1人は100時間を超えていた。	
⑤ 在中等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥ 参考となる写真や資料を添付
<p>・働き方改革委員会で教員同士が話し合い、健康促進日を決めてみんなで守る。</p> <p>・学級通信の廃止。</p> <p>・スクサポさんに配布物(印刷・仕分け)、ポスター貼り、教材作り、トイレの消毒等依頼。</p> <p>・地域共同推進委員さんに地域の配布物依頼。</p> <p>・成績の直前の週には会議を入れない。</p> <p>・会議の開始時刻、終了時刻を設定して守る。</p> <p><u>取組のポイント</u></p> <p>・スクサポさんの判断に任せられるところは任せる。 ・決めたことは守る。</p>	<p>令和6年度 第2回働き方改革委員会</p> <p style="text-align: right;">令和6年12月24日(水) 14:30-15:30 校長室</p> <p>◎長時間労働の影響(忙しい毎日を放置しておけない理由)</p> <p>1. 教師の健康への影響 2. 教育への影響 3. 人材獲得への影響</p> <p>◎中教審(中央教育審議会)学校における働き方改革 答申 「子どものためであればどんな長時間労働も良しとする働き方は教師という崇高な使命感から生まれるものであるが、その中で教師が疲弊するのであればそれは、子どものためにはならない」 「教師のこれまでの働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合って、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになることが学校における働き方改革の目的でありそのことを常に原点としながら改革を進めていく必要がある。」</p> <p>1 メンバー ○○、○○、○○、教頭、校長</p> <p>2 今年度の計画</p> <p>1回目 令和6年 7月 3日 (水) 4月からの問題点の共有(行事・教育課程・校内分掌等) 目標の設定</p> <p>2回目 令和6年12月24日 目標達成の検証 今年度の問題点の共有と来年度に向けて</p> <p>3 本日の流れ</p> <p>① 目標達成の検証 ② 今年度の問題点の共有と来年度に向けて</p>
⑦ 取組の成果	
<p>・5月、6月、7月、10月、11月、12月は、昨年より平均超過勤務時間が減った。</p> <p><u>成果のポイント</u></p> <p>・時間は無限ではないという認識。 自分の時間も他人の時間も大切にすることを教職員発信で共有する。</p> <p>・今年度の取り組みが、次年度へ影響する。どの年度、誰が担当しても継続的にできる取り組みにすること。</p>	<p>① 目標の設定の確認 (第1回時設定目標)</p> <p>・今できることに、チャレンジする。 ・終わる時間を設定する。7月8日(月)から月・水・金は19:00施設。生徒指導專案など、特別な場合は例外。 ・将来的には、「19:00に退勤は遅すぎる」と感じられる職場にしていきたい。</p> <p>⇒3日設定されているとばやけた。</p> <p>② 今年度の問題点の共有と来年度に向けて</p> <p>・金曜日だけを設定。17:00施設目標(通級は、7時間目が17:00までとなっている。これは、学校内で解決する問題ではない。管理職を通じて働きかけていく必要がある。通級担当は都合に合わせて週1回17:00の日を作る。)</p> <p>・大人も子どももスタートと終わりを意識する。児童に指導している時間の意識を自分の業務にもあてはめよう。</p> <p>・令和7年度は、掃除と昼休みを入れ替える。</p> <p>・朝の用意が終わったら、静かに本を読む。(小野っこ読書タイム)朝の時間に活動をできるだけ入れない。</p> <p>・給食や挨拶システム、5分休憩のあり方について小野小スタンダードを確認してはどうか。</p> <p>・体育の宿題について体育部会で検討する必要がある。</p>